



TOKACHI  
十勝の

# 景気動向

◇ 全業種 .....	1P
◇ 製造業 .....	3P
◇ 卸売業 .....	5P
◇ 小売業 .....	7P
◇ 建設業 .....	9P
◇ 不動産業 .....	11P
◇ サービス業 .....	13P
◇ 運輸業 .....	15P

調査要領 調査数 415 社 調査時点：平成21年6月1日～平成21年6月5日  
回答数 406 社 調査地域：当金庫本支店所在地  
回答率 97.8 % 調査方法：当金庫本支店職員による面接聞き取り法  
分析方法：判断D.I.を中心に分析

# 全業種

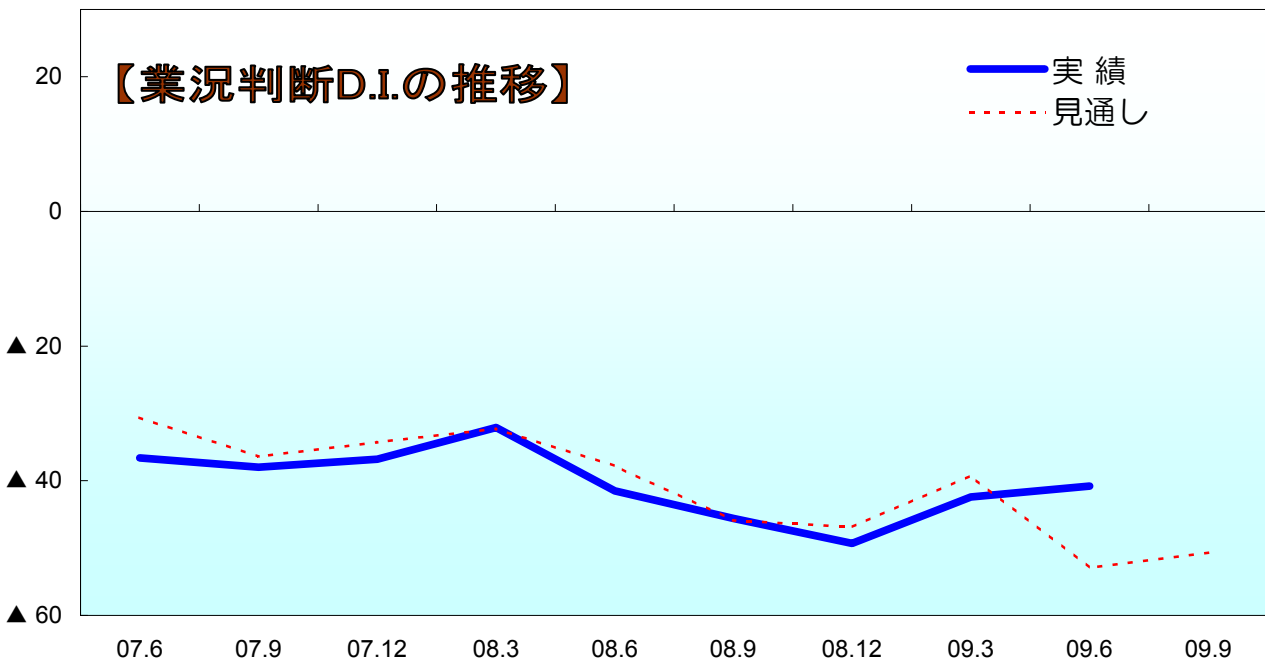
## 【今 期】

今期(4~6月期)の「業況判断」(D.I.以下同じ)は▲41の「悪い超」と、前回見通し(▲53)に比べ12ポイント上振れ、前期・前年同期に比べともに1ポイントの改善となった。また、「売上額」は▲24と、「減収超」幅が前期比2ポイント拡大したが、「収益」は▲26と、「減益超」幅が同1ポイント縮小した。

この間、「販売・料金価格」は、昨秋以降の需要低調を背景に、▲18と「下降超」幅が前期比1ポイント拡大した。一方、「仕入・材料価格」は、足許の石油価格の反発等を反映して、前期▲2の「下降超」から今期+3の「上昇超」に転化した。「在庫」は、在庫調整の進捗を反映して、+1と「過剰超」が前期比4ポイント減少した。「資金繰り」面では、▲20の「苦しい超」と前期比4ポイントの改善となった。

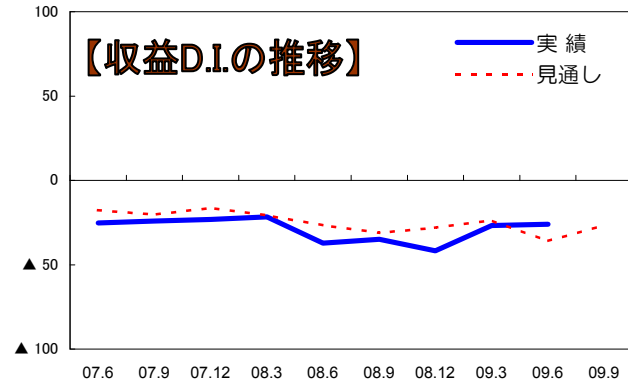
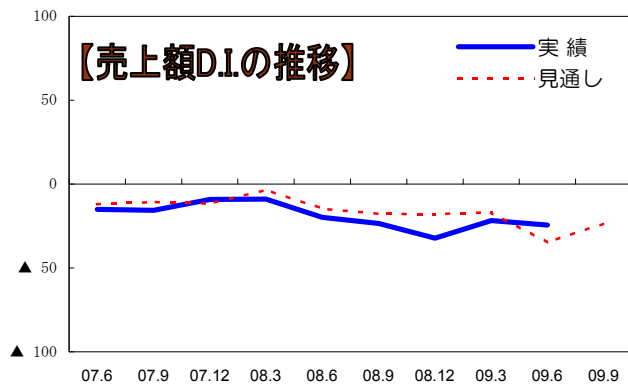
## 【来 期】

来期(7~9月期)の「業況判断」見通しは▲51の「悪い超」と、今期実績比で10ポイント、前年同期比で9ポイントの悪化となっており、先行きについては依然慎重な見方が多い。



- ◆判断D.I.
- 業況  
⇒「良い」-「悪い」
- 売上額、収益、残業時間  
⇒「増加」-「減少」
- 販売・料金価格、仕入・材料価格  
⇒「上昇」-「下降」
- 在庫、人手、現在設備  
⇒「過剰」-「不足」
- 資金繰り  
⇒「楽」-「苦しい」
- ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲42	▲46	▲49	▲42	▲53	▲41	▲51
売上額	▲20	▲23	▲32	▲22	▲35	▲24	▲23
収益	▲37	▲35	▲42	▲27	▲36	▲26	▲27
販売・料金価格	11	11	▲5	▲17	▲19	▲18	▲12
仕入・材料価格	63	63	26	▲2	▲4	3	4
在庫	2	1	0	5	2	1	2
資金繰り	▲25	▲24	▲24	▲24	▲25	▲20	▲23
残業時間	▲11	▲11	▲16	▲5	▲13	▲12	▲8
人手	▲5	▲4	0	▲8	▲6	▲3	▲6
現在設備	▲6	▲6	▲7	▲7	▲6	▲5	▲7



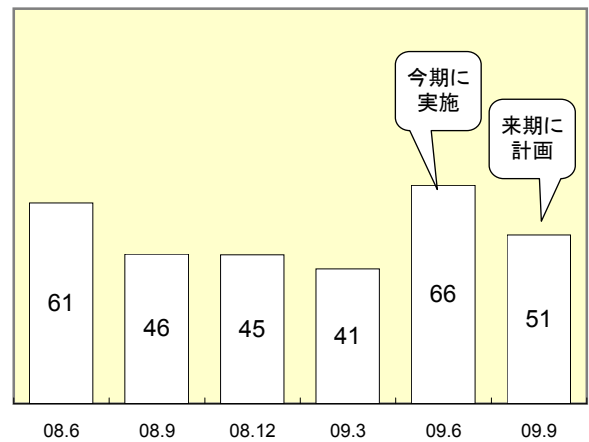
## 経営上の問題点

	社	比率	前期比(社)
売上の停滞・減少	286	70%	▲ 3
同業者間の競争の激化	171	42%	▲ 5
利幅の縮小	140	34%	▲ 14
大手企業との競争の激化	66	18%	9
販売納入先からの値下げ要請	24	8%	7
人件費の増加	19	5%	▲ 4
代金回収の悪化	14	3%	2
店舗の狭小・老朽化	22	7%	7
人件費以外の経費の増加	13	3%	▲ 2
人手不足	7	2%	▲ 7
合理化の不足	10	4%	0

## 当面の重点施策

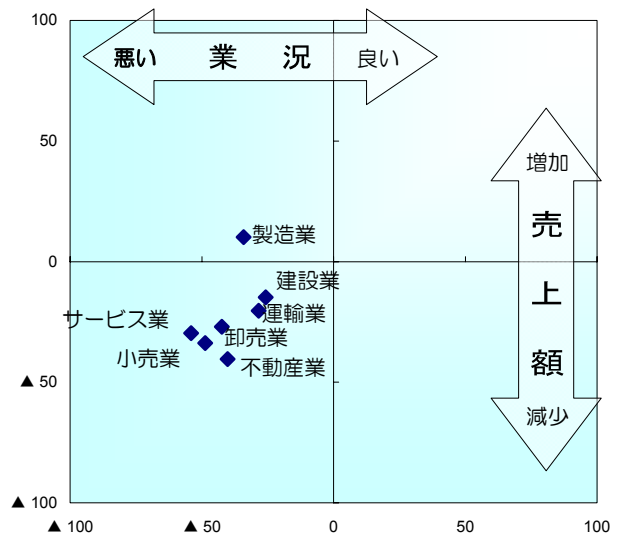
	社	比率	前期比(社)
経費を節減する	268	66%	▲ 4
販路を広げる	132	53%	▲ 13
情報力を強化する	69	40%	15
人材を確保する	42	10%	7
教育訓練を強化する	39	10%	2
新しい事業を始める	22	6%	▲ 2
パート化を図る	9	2%	▲ 4
提携先を見つける	18	12%	6
不動産の有効利用を図る	9	2%	2
特になし	20	5%	▲ 1
労働条件を改善する	8	3%	▲ 1
機械化を推進する	6	2%	1
その他	5	1%	▲ 4

## 設備投資

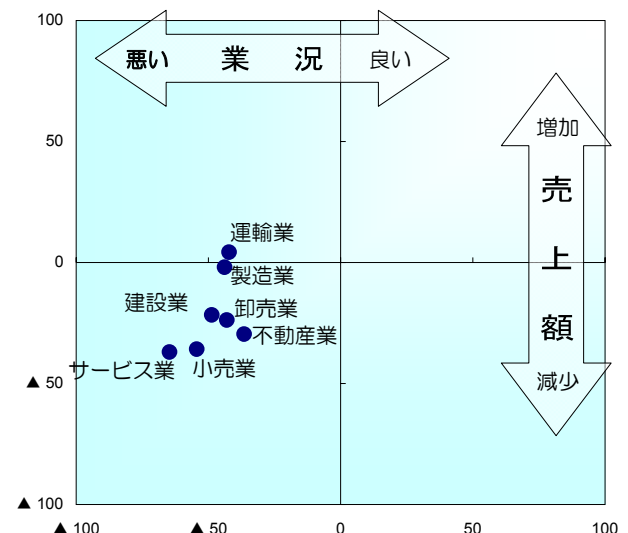


## 業種別の動き

### 今期の実績



### 来期の見通し



# 製造業

調査数 40 社  
 回答数 38 社  
 回答率 95.0 %

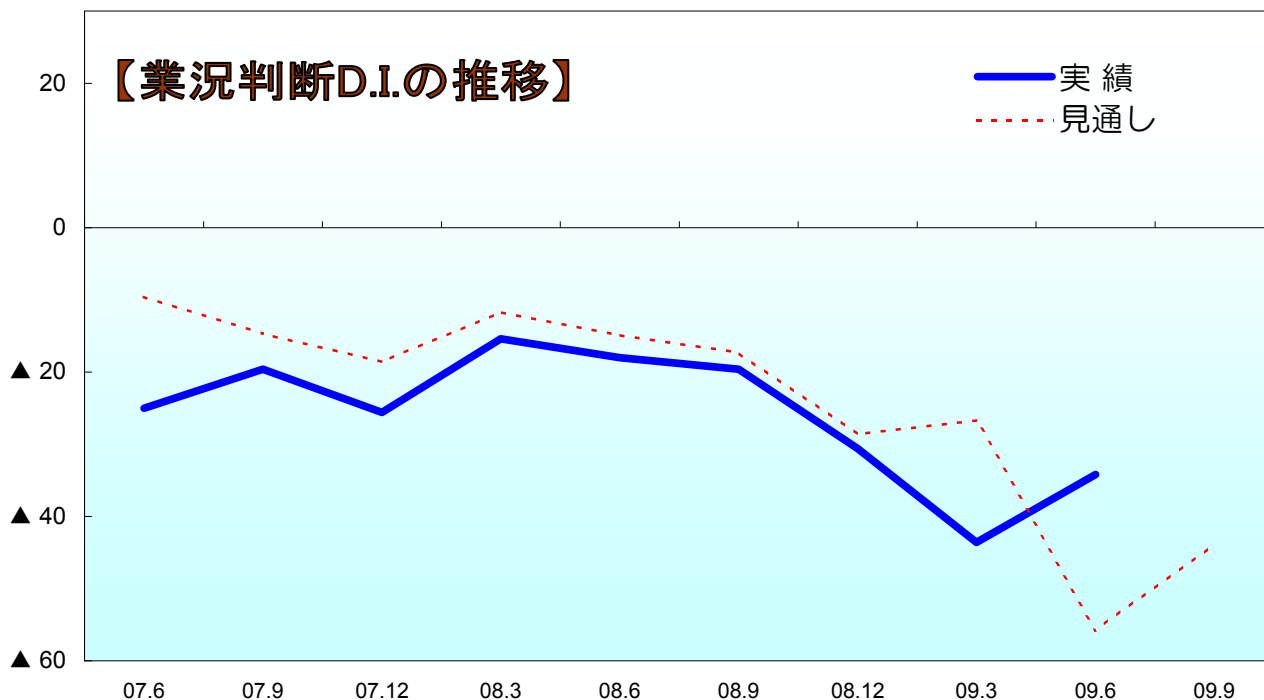
## 【今 期】

今期の「業況判断」は▲34の「悪い超」と、前回見通し（▲56）に比べて22ポイント上振れ、前期（▲44）に比べて10ポイントの改善となった。また、前年同期（▲18）比でも16ポイントの悪化と、前期（28ポイントの悪化）に比べて悪化幅が縮小した。業種別にみると、食料品製造の「悪い超」（▲18）から「良い超」（+10）への転化が目立った。「売上額」は+10と3期振りの「増収超」となった。また、「収益」も▲10と前期（▲19）に比べて「減益超」幅が縮小した。

この間、「人手」は+9と、前期の「不足超」から「過剰超」に転化した。

## 【来 期】

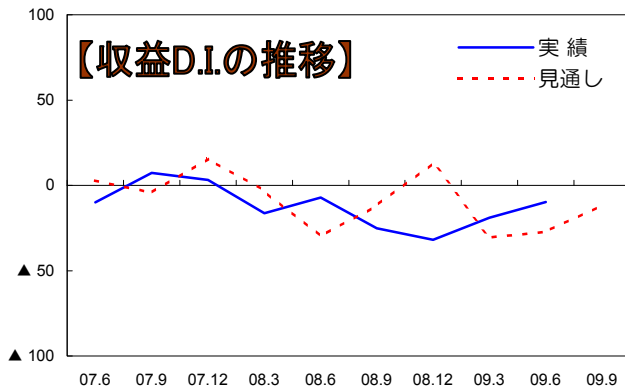
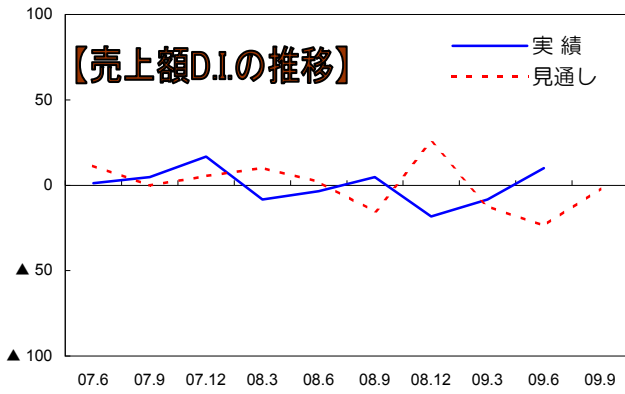
来期の「業況判断」見通しは▲44と、今期実績比で10ポイント、前年同期比で24ポイントの「悪い超」幅拡大となっており、「受注残」の回復などが見込まれてはいるものの、依然慎重な見方が多い。



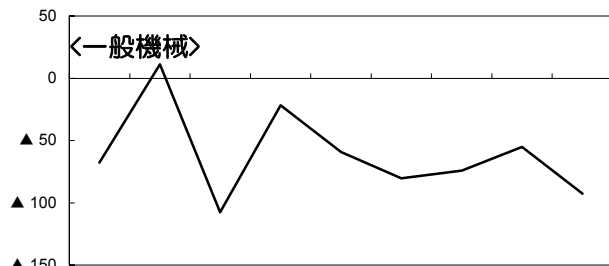
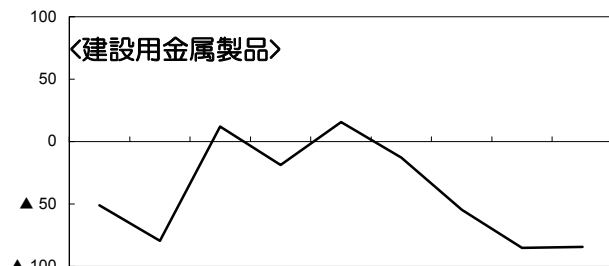
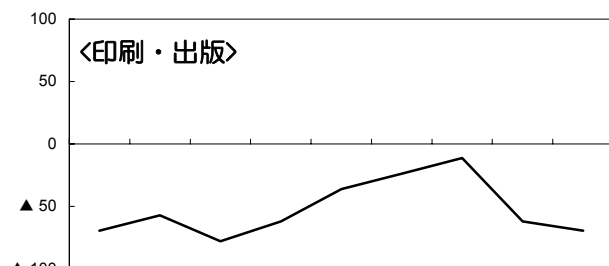
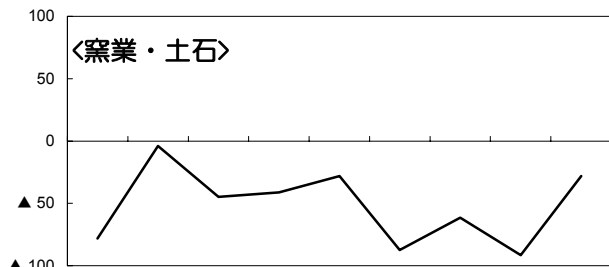
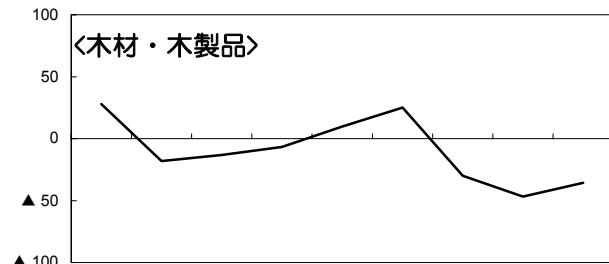
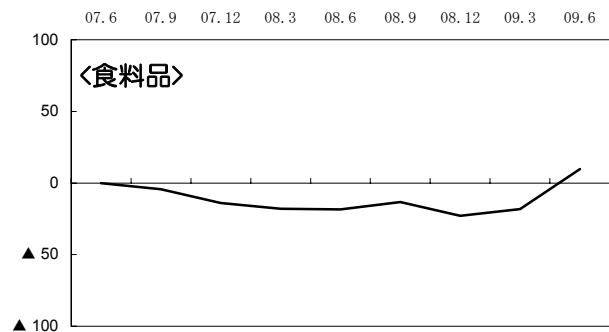
### ◆判断D.I.

- 業況  
⇒「良い」-「悪い」
  - 売上額、受注残、収益、  
残業時間  
⇒「増加」-「減少」
  - 販売・原材料価格  
⇒「上昇」-「下降」
  - 在庫、人手、現在設備  
⇒「過剰」-「不足」
  - 資金繰り  
⇒「楽」-「苦しい」
- ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 18	▲ 20	▲ 31	▲ 44	▲ 56	▲ 34	▲ 44
売上額	▲ 3	5	▲ 18	▲ 8	▲ 24	10	▲ 2
受注残	▲ 8	▲ 24	▲ 31	▲ 20	▲ 22	▲ 10	9
収益	▲ 7	▲ 25	▲ 32	▲ 19	▲ 27	▲ 10	▲ 12
販売価格	15	22	14	▲ 13	▲ 36	▲ 18	▲ 19
原材料価格	66	86	62	▲ 8	▲ 25	▲ 16	▲ 17
原材料在庫	10	5	5	24	20	34	32
資金繰り	▲ 2	7	▲ 2	▲ 3	▲ 3	▲ 8	▲ 13
残業時間	▲ 1	▲ 13	▲ 14	▲ 15	▲ 23	▲ 17	▲ 10
人手	▲ 4	▲ 2	0	▲ 11	▲ 4	9	10
現在設備	3	▲ 3	▲ 7	2	7	0	0



### 中分類別の業況D.I.の推移



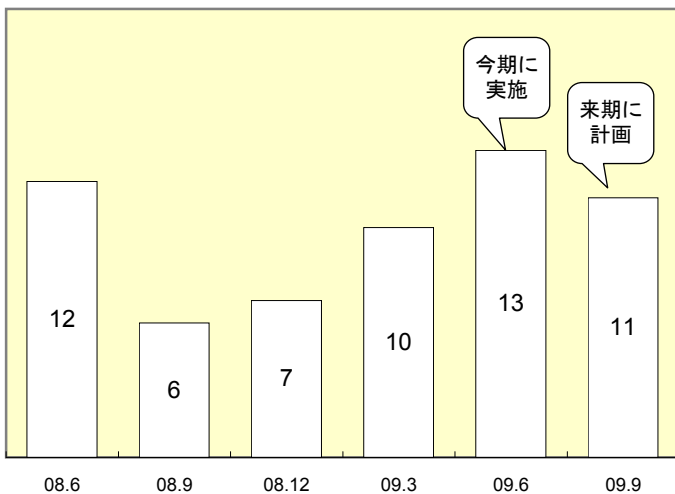
### 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	25	64%
利幅の縮小	16	41%
同業者間の競争の激化	10	26%

### 当面の重点施策

	社	比率
販路を広げる	23	59%
経費を節減する	23	59%
新製品・技術を開発する	15	38%

### 設備投資



# 卸売業

調査数 30 社  
 回答数 30 社  
 回答率 100.0 %

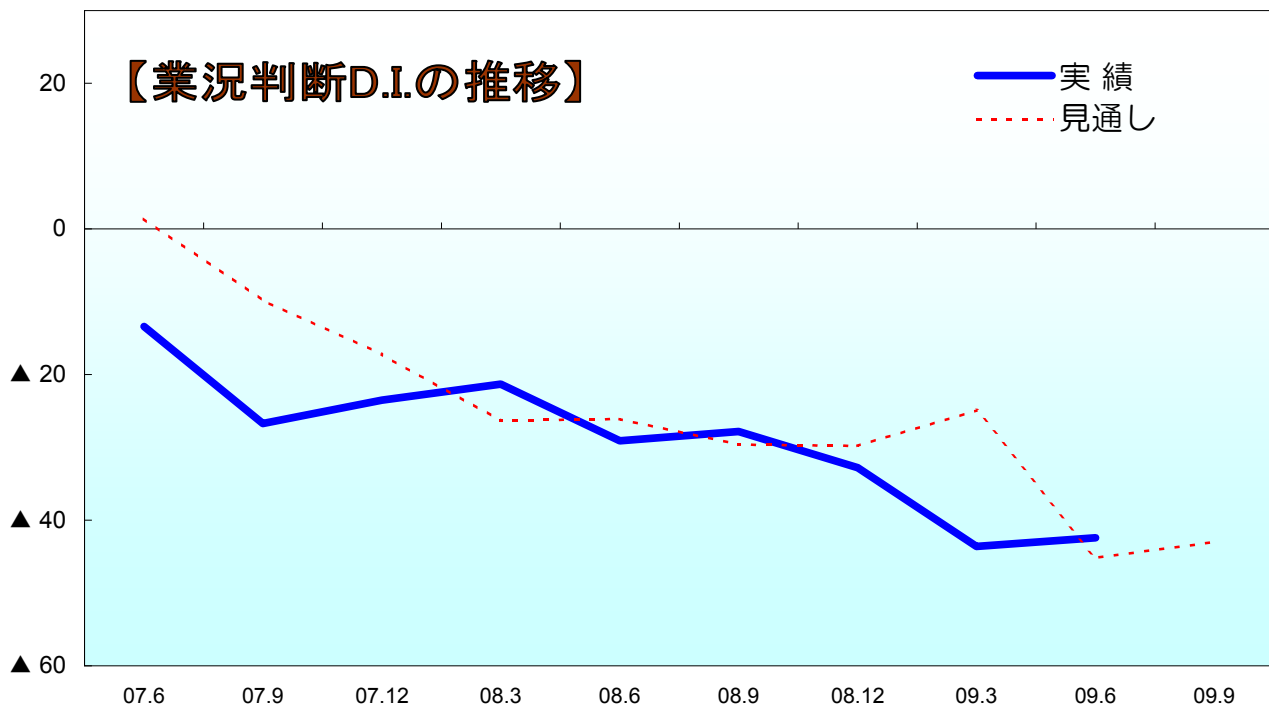
## 【今 期】

今期の「業況判断」は▲42の「悪い超」と、前回見通し(▲45)に比べ小幅の上振れ、前期(▲44)に比べ小幅の改善となったものの、水準は依然低い。また、「売上額」は▲27と前期比9ポイントの「減収超」幅拡大、「収益」も▲32と同5ポイントの「減益超」幅拡大となり、いずれも低水準にとどまった。

この間、「仕入価格」は+2の「上昇超」と前期の「下降超」から小幅反発した一方、「販売価格」は「下降超」幅が▲9と前期比6ポイント拡大した。なお、「資金繰り」は▲8の「苦しい超」と前期(▲2)に比べてやや窮屈化した。

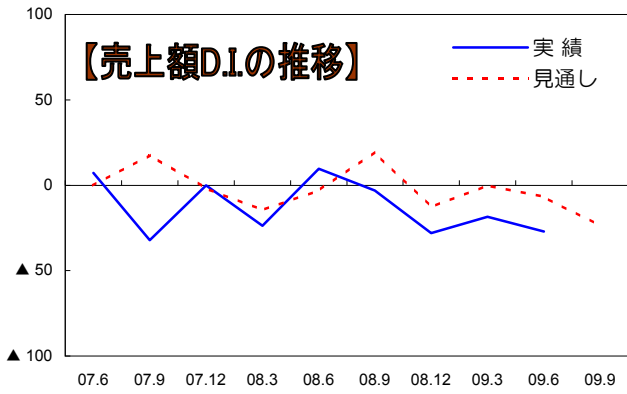
## 【来 期】

来期の「業況判断」は、▲43の「悪い超」と低水準が続く見通し。この間、「売上額」、「収益」の見通しにおいては、「減収」や「減益」を回避する強気の目標を掲げる先が比較的多い。



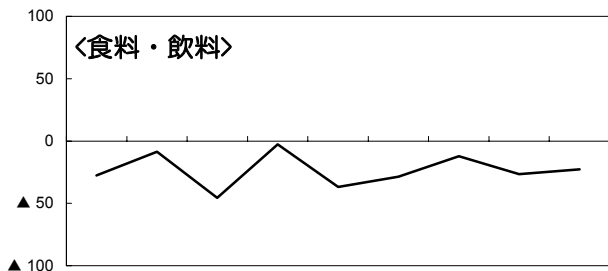
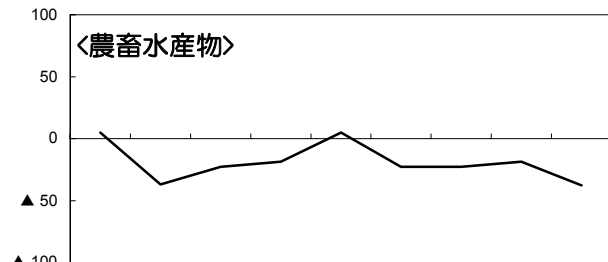
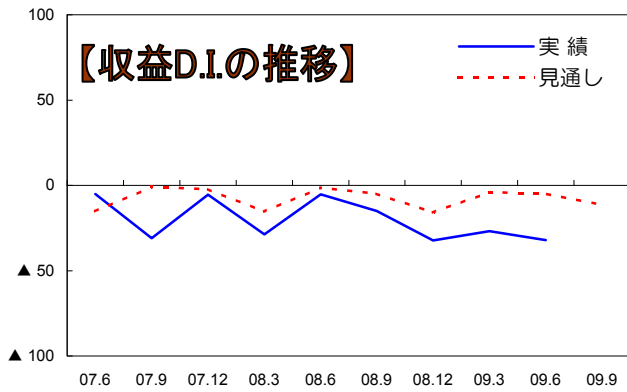
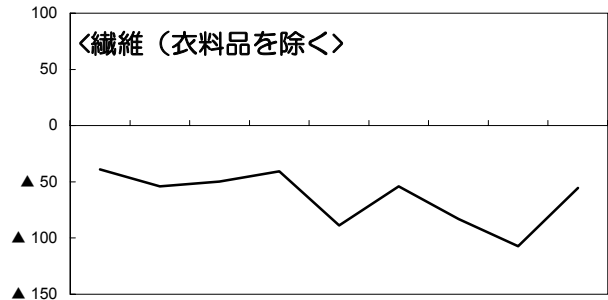
- ◆判断D.I.  
 ○業況  
 ⇒「良い」-「悪い」  
 ○売上額、収益、残業時間  
 ⇒「増加」-「減少」  
 ○販売・仕入価格  
 ⇒「上昇」-「下降」  
 ○在庫、人手、現在設備  
 ⇒「過剰」-「不足」  
 ○資金繰り  
 ⇒「楽」-「苦しい」  
 ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 29	▲ 28	▲ 33	▲ 44	▲ 45	▲ 42	▲ 43
売上額	10	▲ 3	▲ 28	▲ 18	▲ 7	▲ 27	▲ 24
収益	▲ 5	▲ 15	▲ 32	▲ 27	▲ 5	▲ 32	▲ 12
販売価格	34	37	16	▲ 3	▲ 8	▲ 9	▲ 7
仕入価格	68	55	15	▲ 2	▲ 2	2	▲ 3
在庫	15	30	11	11	11	5	3
資金繰り	▲ 11	0	▲ 3	▲ 2	▲ 7	▲ 8	▲ 7
残業時間	3	▲ 5	▲ 8	▲ 13	▲ 13	▲ 10	▲ 3
人手	4	5	10	5	0	0	▲ 10
現在設備	3	9	4	3	4	3	0



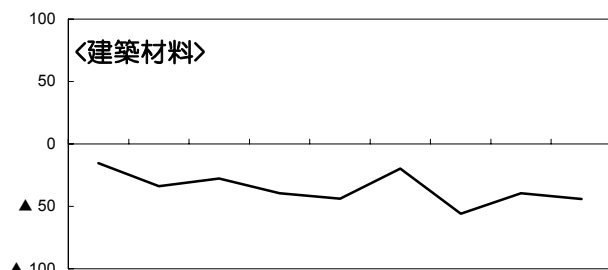
### 中分類別の業況D.I.の推移

07.6 07.9 07.12 08.3 08.6 08.9 08.12 09.3 09.6



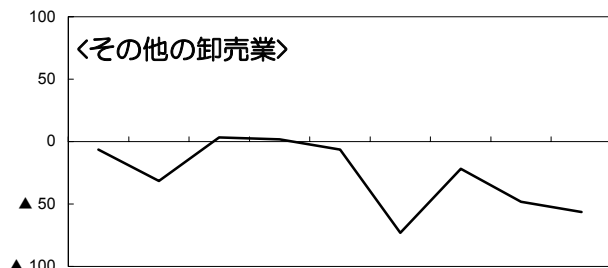
### 経営上の問題点

問題点	社	比率
売上の停滞・減少	21	70%
同業者間の競争の激化	15	50%
利幅の縮小	10	33%

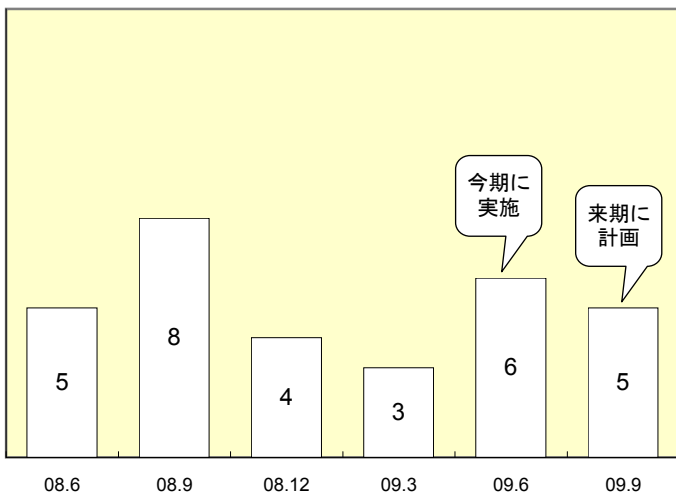


### 当面の重点施策

施策	社	比率
販路を広げる	26	87%
経費を節減する	17	57%
情報力を強化する	12	40%



### 設備投資



# 小売業

調査数 159 社  
 回答数 156 社  
 回答率 98.1 %

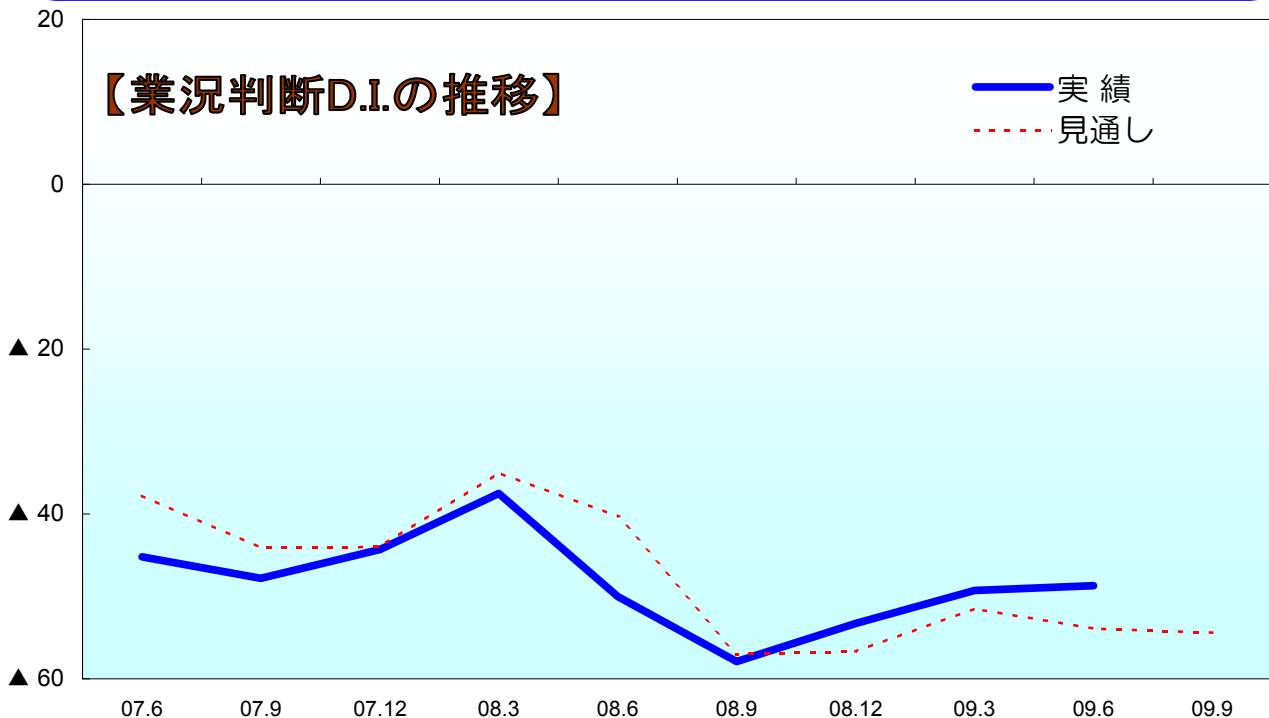
## 【今 期】

今期の「業況判断」は▲49の「悪い超」と、前回見通し(▲54)比5ポイント上振れたものの、前期(▲49)・前年同期(▲50)のいずれと比べてみても概ね横ばいの低水準にとどまった。また、「売上額」も▲34と、「減収超」幅が前期比6ポイント拡大したものの、「収益」は▲28と、「減益超」幅が同3ポイント縮小しており、「収益」の悪化テンポは一頃に比べて緩和した。

この間、「仕入価格」は+2の「上昇超」と、前期の「下降超」から小幅反発したものの、「販売価格」は▲15の「下降超」と、前期(▲16)に続き価格低下に悩む先が多い。

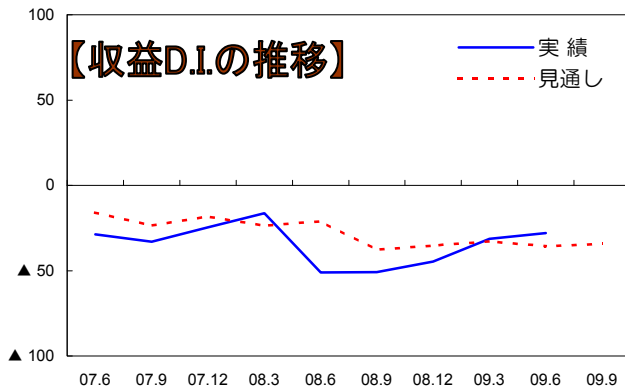
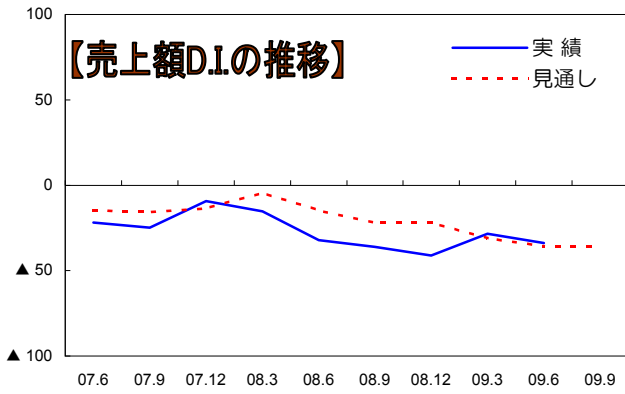
## 【来 期】

来期の「業況判断」見通しは▲54と、今期実績比5ポイントの「悪い超」幅拡大となっており、先行きについては引き続き厳しい見方が多い。



- ◆判断D.I.
- 業況  
⇒「良い」-「悪い」
- 売上額、収益、残業時間  
⇒「増加」-「減少」
- 販売・仕入価格  
⇒「上昇」-「下降」
- 在庫、人手、現在設備  
⇒「過剰」-「不足」
- 資金繰り  
⇒「楽」-「苦しい」
- ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 50	▲ 58	▲ 53	▲ 49	▲ 54	▲ 49	▲ 54
売上額	▲ 32	▲ 36	▲ 41	▲ 28	▲ 36	▲ 34	▲ 36
収益	▲ 51	▲ 51	▲ 45	▲ 31	▲ 36	▲ 28	▲ 34
販売価格	27	24	2	▲ 16	▲ 11	▲ 15	▲ 6
仕入価格	56	49	13	▲ 4	▲ 4	2	3
在庫	4	▲ 5	▲ 2	0	▲ 2	▲ 2	0
資金繰り	▲ 32	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 26
残業時間	▲ 7	▲ 10	▲ 12	▲ 2	▲ 5	▲ 8	▲ 5
人手	▲ 6	▲ 8	▲ 1	▲ 13	▲ 12	▲ 7	▲ 8
現在設備	▲ 4	▲ 8	▲ 12	▲ 7	▲ 6	▲ 9	▲ 9



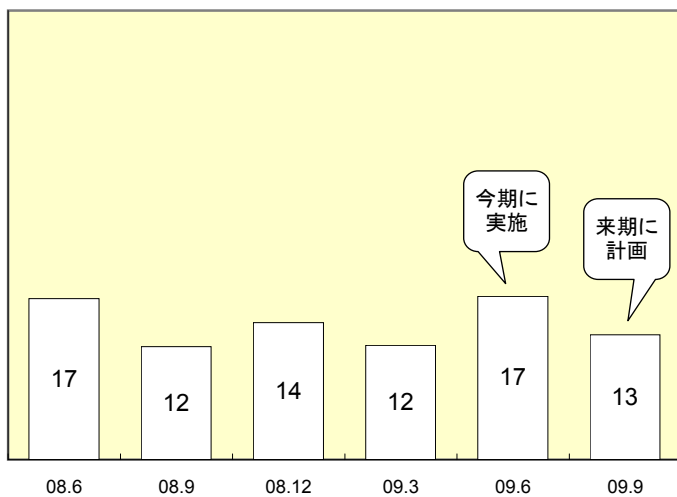
## 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	113	72%
同業者間の競争の激化	55	35%
利幅の縮小	47	30%

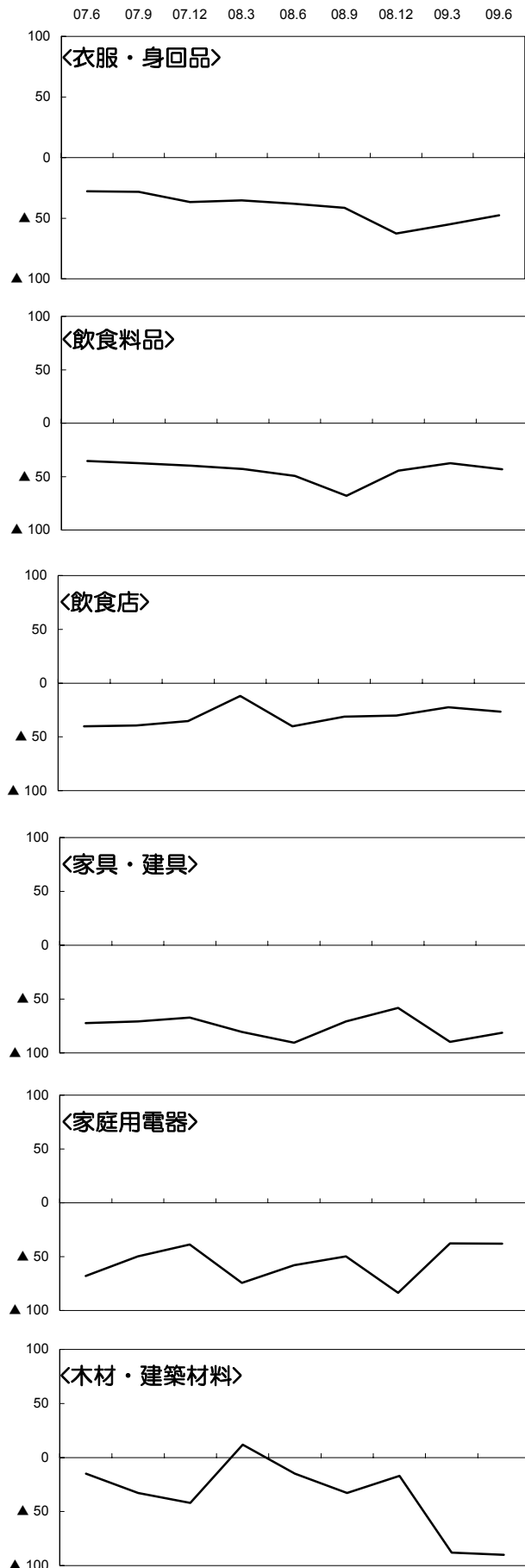
## 当面の重点施策

	社	比率
経費を節減する	97	62%
品揃えを改善する	75	48%
売れ筋商品を取り扱う	54	34%

## 設備投資



## 中分類別の業況D.I.の推移



# 建設業

調査数 97 社  
 回答数 95 社  
 回答率 97.9 %

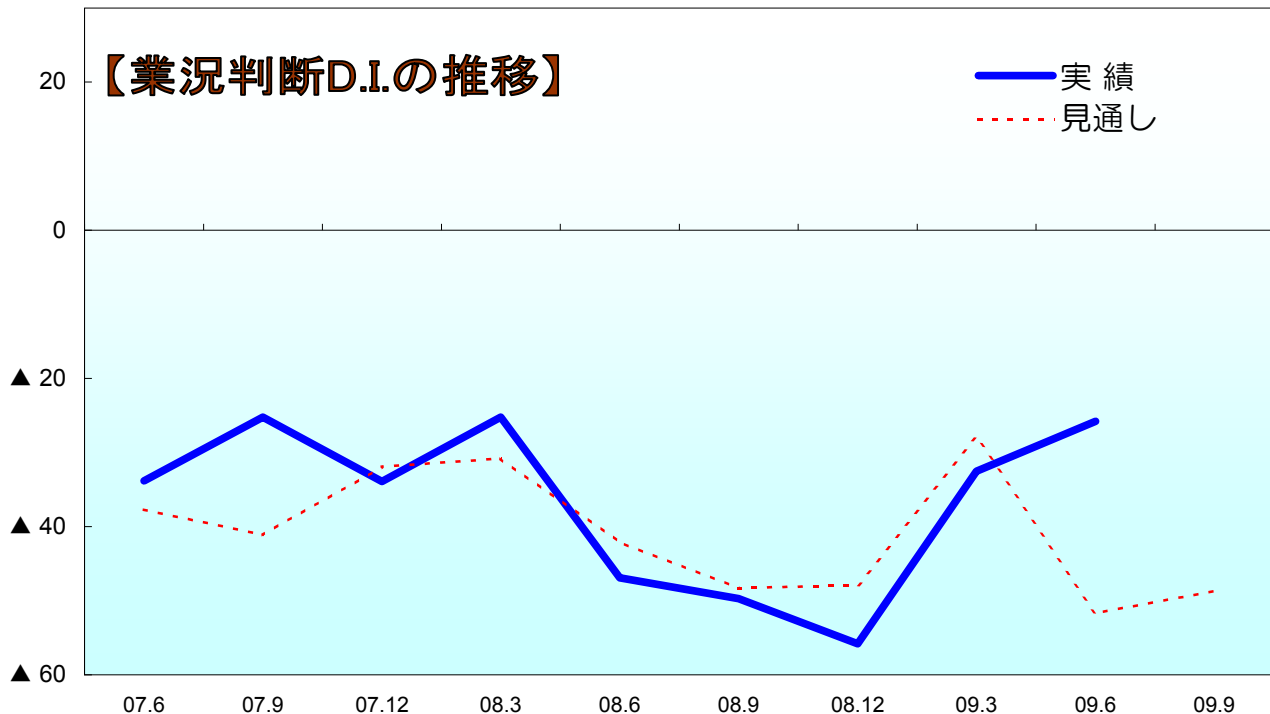
## 【今 期】

今期の「業況判断」は、前回見通し（▲52）比大幅に上振れ、▲26の「悪い超」と前期比7ポイント、前年同期比では21ポイントの改善となった。これに対し、「売上額」、「施工高」は、ともに▲15の「減収超」、「減少超」に転化。また、「収益」も▲26と、「減益超」幅が前期（▲15）に比べて拡大した。

この間、「材料価格」は+9と、「上昇超」幅が前期比6ポイントの縮小となり、コスト上昇圧力の緩和が続いている。他方、「請負価格」については▲26の「下降超」となっており、引き続き価格低下に悩む先が多い。

## 【来 期】

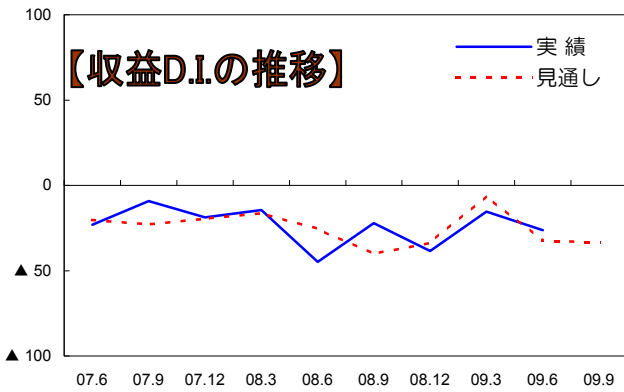
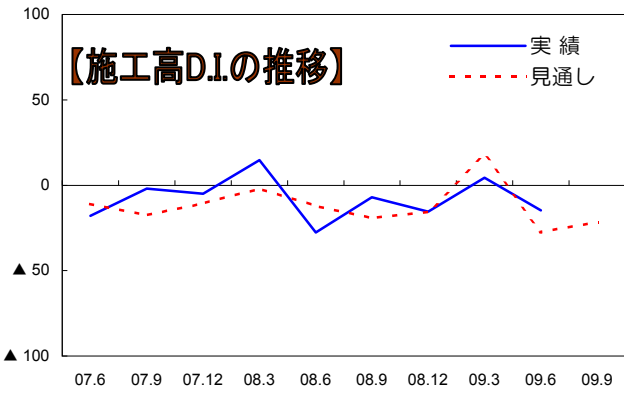
来期の「業況判断」見通しは▲49の「悪い超」と、今期実績比23ポイントの大幅悪化となっており、春先からの改善には、その持続性に懐疑的な見方が多い。



### ◆判断D.I.

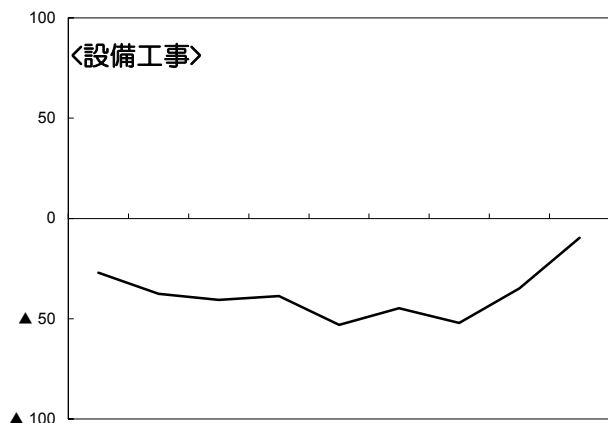
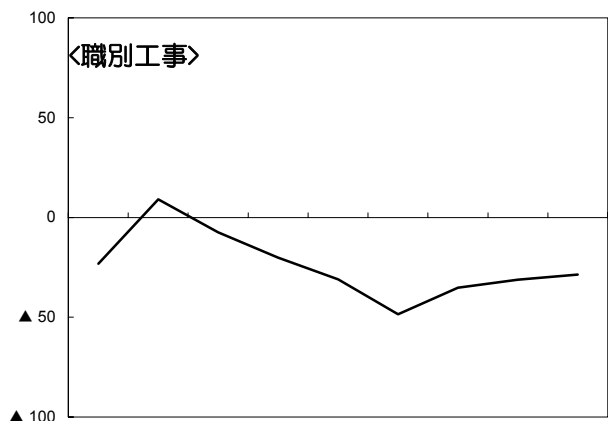
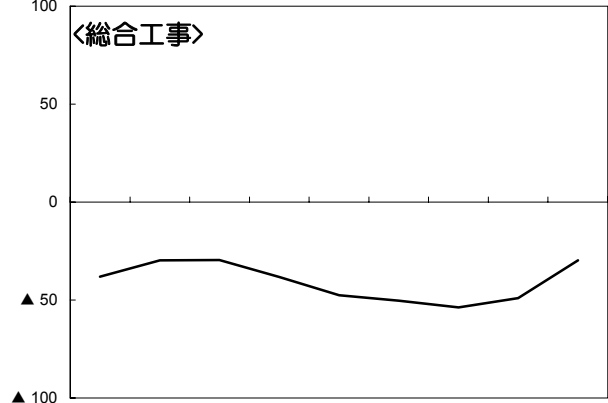
- 業況  
⇒「良い」-「悪い」
- 売上額、受注残、施工高、  
収益、残業時間  
⇒「増加」-「減少」
- 請負・材料価格  
⇒「上昇」-「下降」
- 在庫、人手、現在設備  
⇒「過剰」-「不足」
- 資金繰り  
⇒「楽」-「苦しい」
- ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 47	▲ 50	▲ 56	▲ 33	▲ 52	▲ 26	▲ 49
売上額	▲ 28	▲ 21	▲ 22	0	▲ 35	▲ 15	▲ 15
受注残	▲ 33	▲ 13	▲ 19	▲ 16	▲ 36	▲ 21	▲ 31
施工高	▲ 28	▲ 7	▲ 16	4	▲ 28	▲ 15	▲ 22
収益	▲ 45	▲ 22	▲ 39	▲ 15	▲ 33	▲ 26	▲ 33
請負価格	▲ 18	▲ 17	▲ 29	▲ 28	▲ 29	▲ 26	▲ 22
材料価格	71	79	41	15	0	9	9
在庫	▲ 4	2	▲ 2	2	▲ 2	▲ 6	▲ 3
資金繰り	▲ 22	▲ 25	▲ 21	▲ 25	▲ 18	▲ 16	▲ 21
残業時間	▲ 24	▲ 17	▲ 28	0	▲ 19	▲ 15	▲ 14
人手	1	3	5	▲ 9	0	1	▲ 3
現在設備	▲ 5	▲ 2	0	▲ 5	0	▲ 3	▲ 3



### 中分類別の業況D.I.の推移

07.6 07.9 07.12 08.3 08.6 08.9 08.12 09.3 09.6



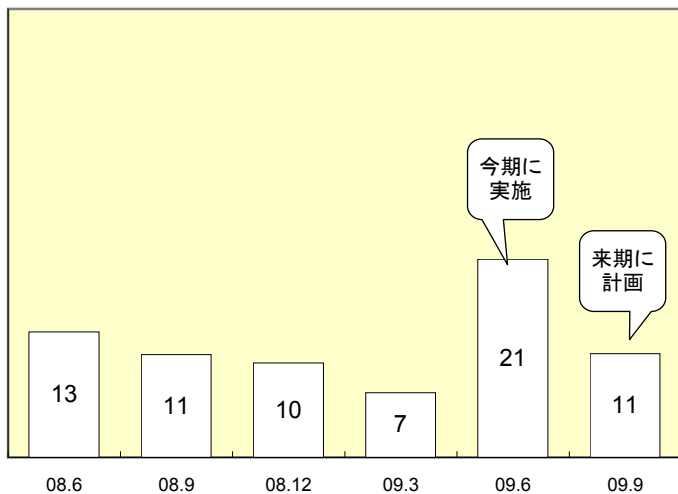
### 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	68	70%
同業者間の競争の激化	60	62%
利幅の縮小	56	58%

### 当面の重点施策

	社	比率
経費を節減する	70	72%
販路を広げる	53	55%
技術力を高める	38	39%

### 設備投資



# 不動産業

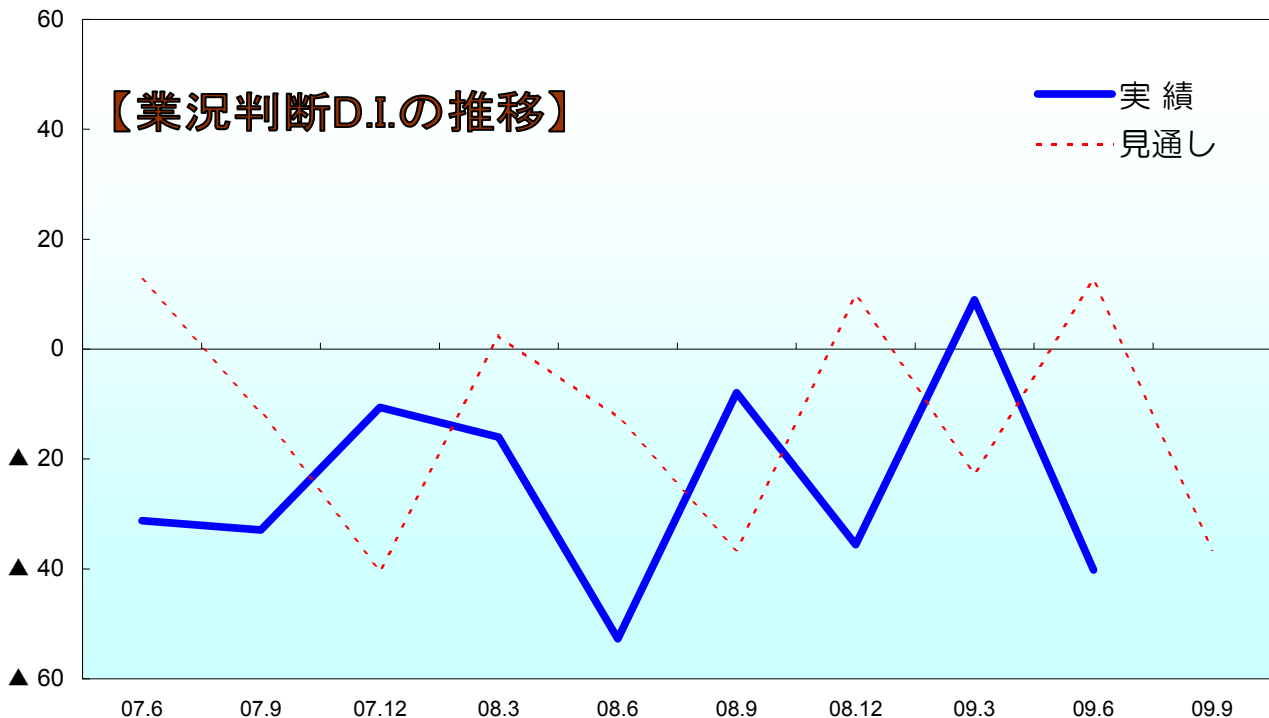
調査数 9 社  
 回答数 8 社  
 回答率 88.8 %

## 【今 期】

今期の「業況判断」は、建売・土地売買や不動産賃貸で「売上額」が増加した前期の反動等もあって、前期（+9）比49ポイントの大幅悪化となり、▲40の「悪い超」に転化した。この間、「売上額」の「減収超」への転化や「販売価格」の「下降超」幅拡大の影響などもあって、「収益」面でも「減益超」幅が拡大した。一方、「在庫」については、「過剰超」から「不足超」に4期振りに転化した。

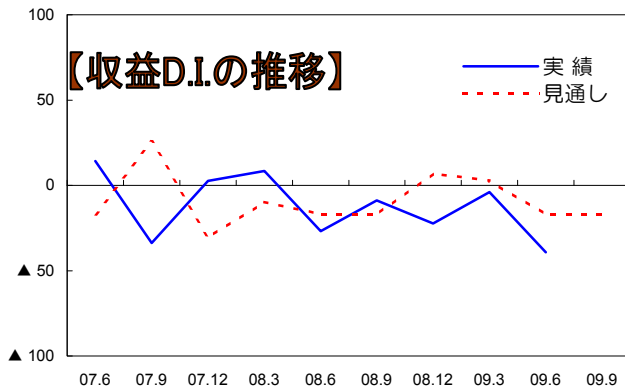
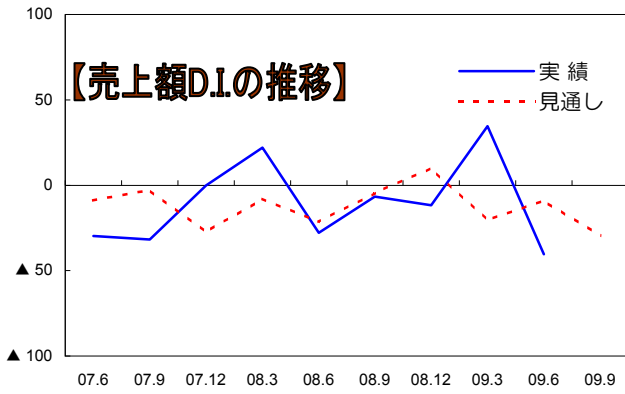
## 【来 期】

来期の「業況判断」は▲37の「悪い超」と、今期実績比3ポイントの小幅改善にとどまる見通し。もっとも、「売上額」・「販売価格」の「減収超」幅、「下降超」幅の縮小や「仕入価格」の続落、「在庫」調整の進捗等から、「収益」面でも「減益超」幅縮小が見込まれている。

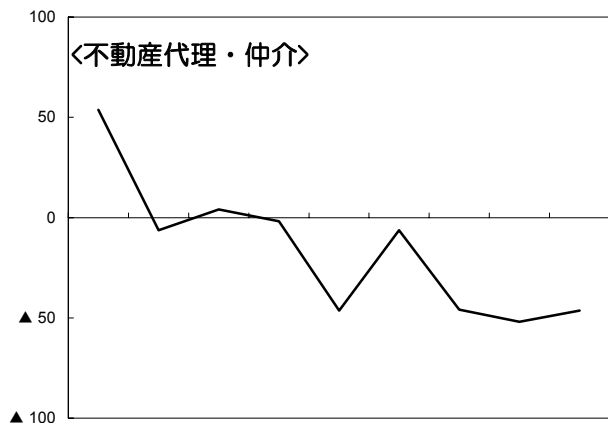
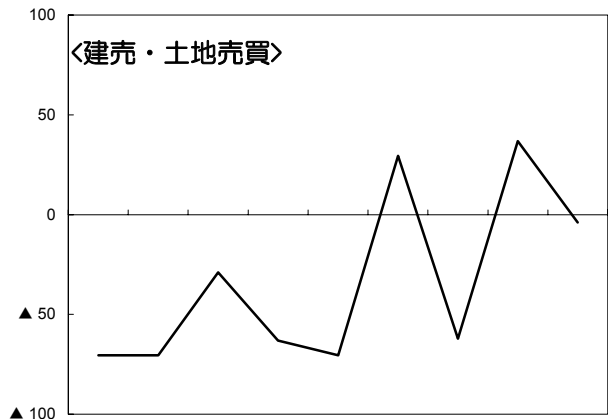
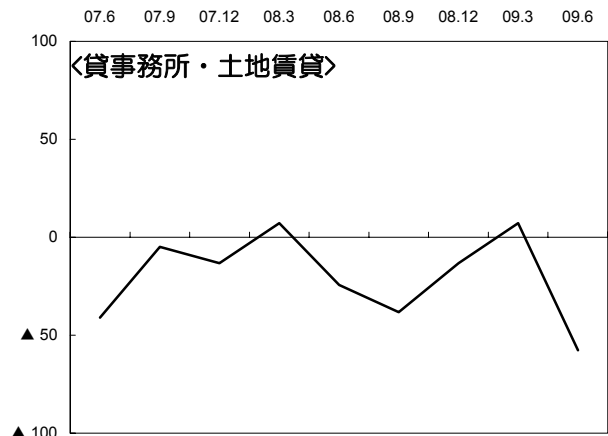


- ◆判断D.I.
- 業況  
⇒「良い」-「悪い」
- 売上額、収益、残業時間  
⇒「増加」-「減少」
- 販売・仕入価格  
⇒「上昇」-「下降」
- 在庫、人手  
⇒「過剰」-「不足」
- 資金繰り  
⇒「楽」-「苦しい」
- ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 53	▲ 8	▲ 36	9	13	▲ 40	▲ 37
売上額	▲ 28	▲ 7	▲ 12	35	▲ 9	▲ 40	▲ 30
収益	▲ 27	▲ 9	▲ 22	▲ 4	▲ 17	▲ 39	▲ 17
販売価格	▲ 42	0	▲ 33	▲ 12	▲ 17	▲ 42	▲ 22
仕入価格	17	14	3	▲ 33	▲ 3	▲ 8	▲ 16
在庫	▲ 21	3	0	7	▲ 9	▲ 21	▲ 20
資金繰り	▲ 4	▲ 5	1	20	9	9	6
残業時間	▲ 14	13	▲ 12	▲ 12	▲ 2	▲ 14	▲ 3
人手	▲ 8	1	0	▲ 7	▲ 4	▲ 8	▲ 8



## 中分類別の業況D.I.の推移



## 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	6	75%
利幅の縮小	5	63%
同業者間の競争の激化	3	38%

## 当面の重点施策

	社	比率
経費を節減する	5	63%
販路を広げる	4	50%
情報力を強化する	3	38%

# サービス業

調査数 52 社  
 回答数 51 社  
 回答率 98.0 %

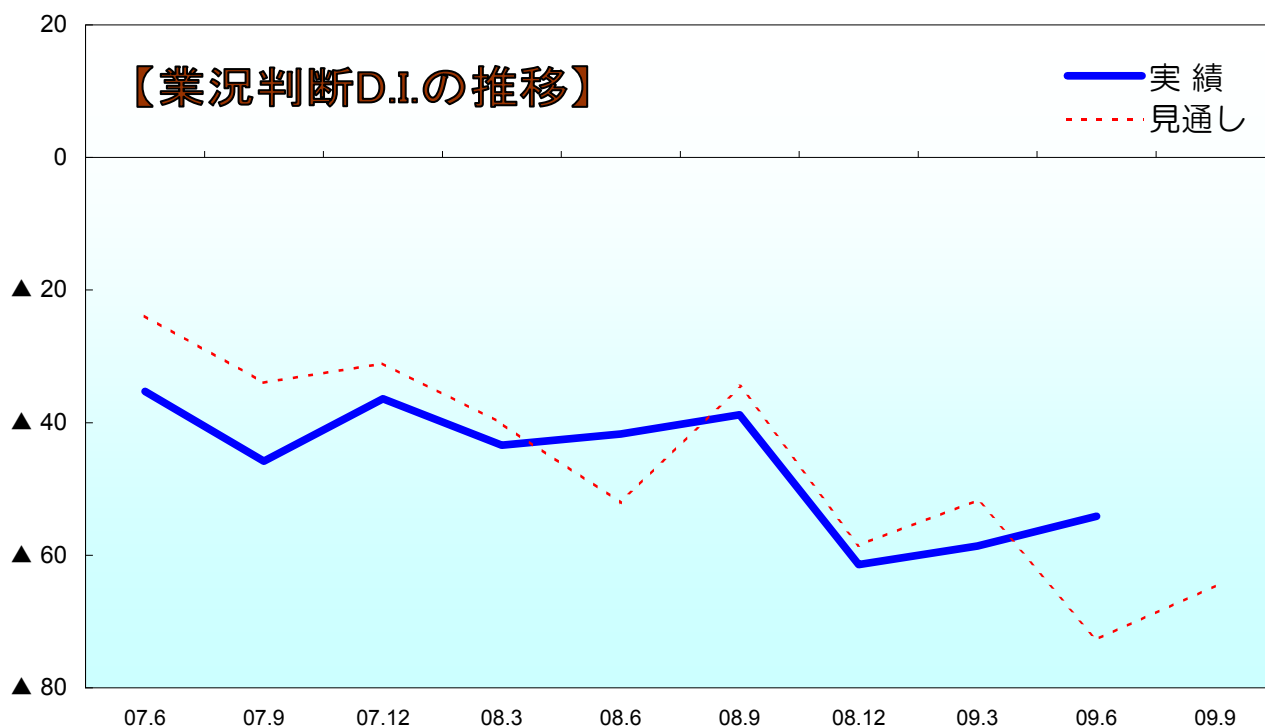
## 【今 期】

今期の「業況判断」は▲54の「悪い超」と、前期（▲59）・前回調査見通し（▲73）に比べて改善したが、前年同期（▲42）対比で見ると12ポイントの悪化となるなど、なお低水準にとどまっている。

この間、「料金価格」は▲17と、「下降超」幅が拡大した一方、「材料価格」は+8と、「上昇超」幅が急速に縮小した。

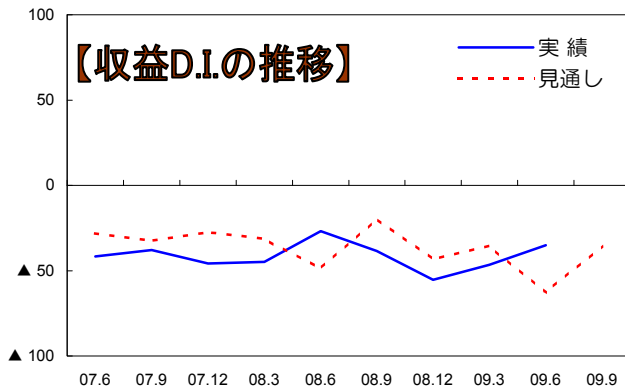
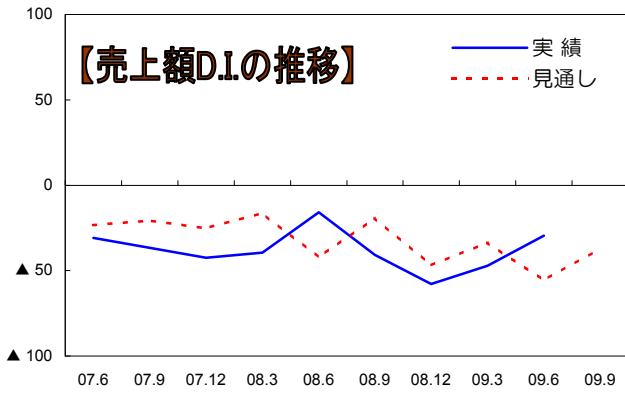
## 【来 期】

来期の「業況判断」見通しは▲65の「悪い超」と、今期実績比11ポイント悪化となっており、先行きも依然厳しい状況が続くと見る向きが多い。

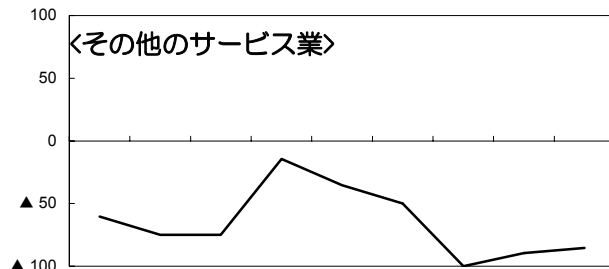
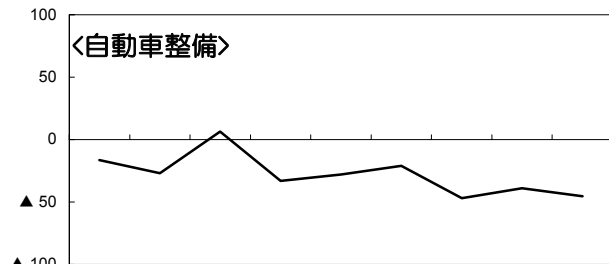
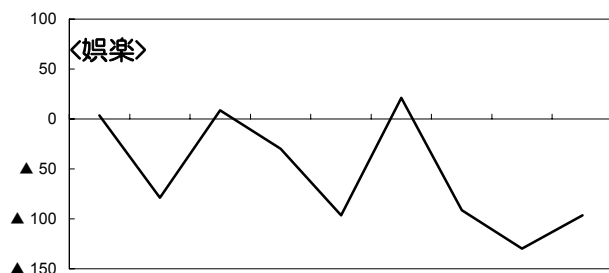
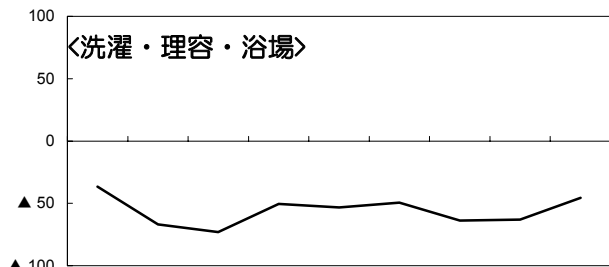
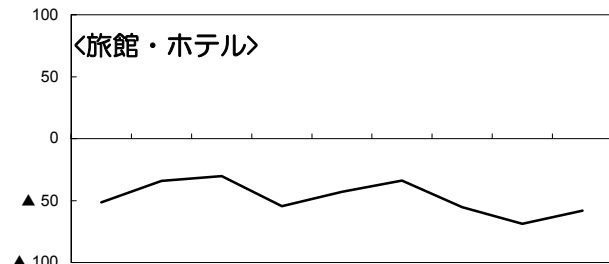
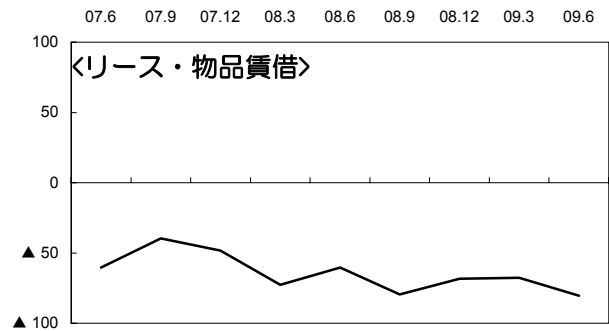


- ◆判断D.I.  
 ○業況  
 ⇒「良い」-「悪い」  
 ○売上額、収益、残業時間  
 ⇒「増加」-「減少」  
 ○料金・材料価格  
 ⇒「上昇」-「下降」  
 ○人手、現在設備  
 ⇒「過剰」-「不足」  
 ○資金繰り  
 ⇒「楽」-「苦しい」  
 ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲42	▲39	▲61	▲59	▲73	▲54	▲65
売上額	▲16	▲41	▲58	▲47	▲56	▲30	▲37
収益	▲27	▲38	▲55	▲47	▲63	▲35	▲36
料金価格	4	▲5	▲6	▲5	▲14	▲17	▲11
材料価格	67	67	43	20	5	8	6
資金繰り	▲31	▲41	▲48	▲44	▲37	▲34	▲39
残業時間	▲14	▲16	▲23	▲19	▲23	▲9	▲11
人手	▲12	▲2	2	0	0	▲4	1
現在設備	▲14	▲18	▲15	▲13	▲14	▲17	▲20



### 中分類別の業況D.I.の推移



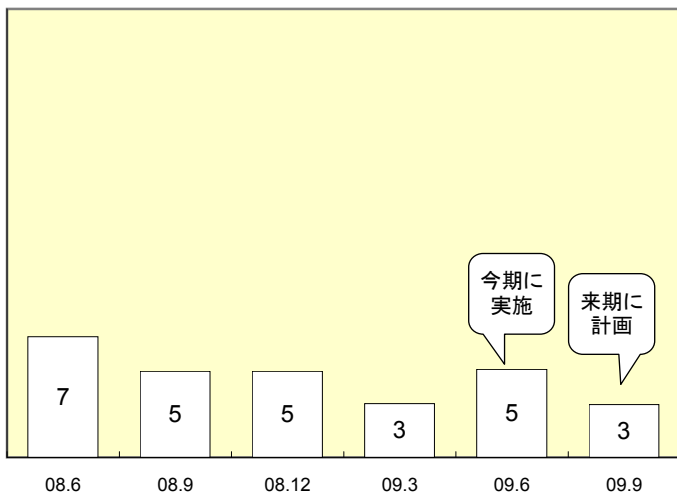
### 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	39	78%
同業者間の競争の激化	25	50%
利幅の縮小	10	20%

### 当面の重点施策

	社	比率
経費を節減する	35	70%
販路を広げる	23	46%
技術力を高める	15	30%

### 設備投資



# 運輸業

調査数 28 社  
 回答数 28 社  
 回答率 100.0 %

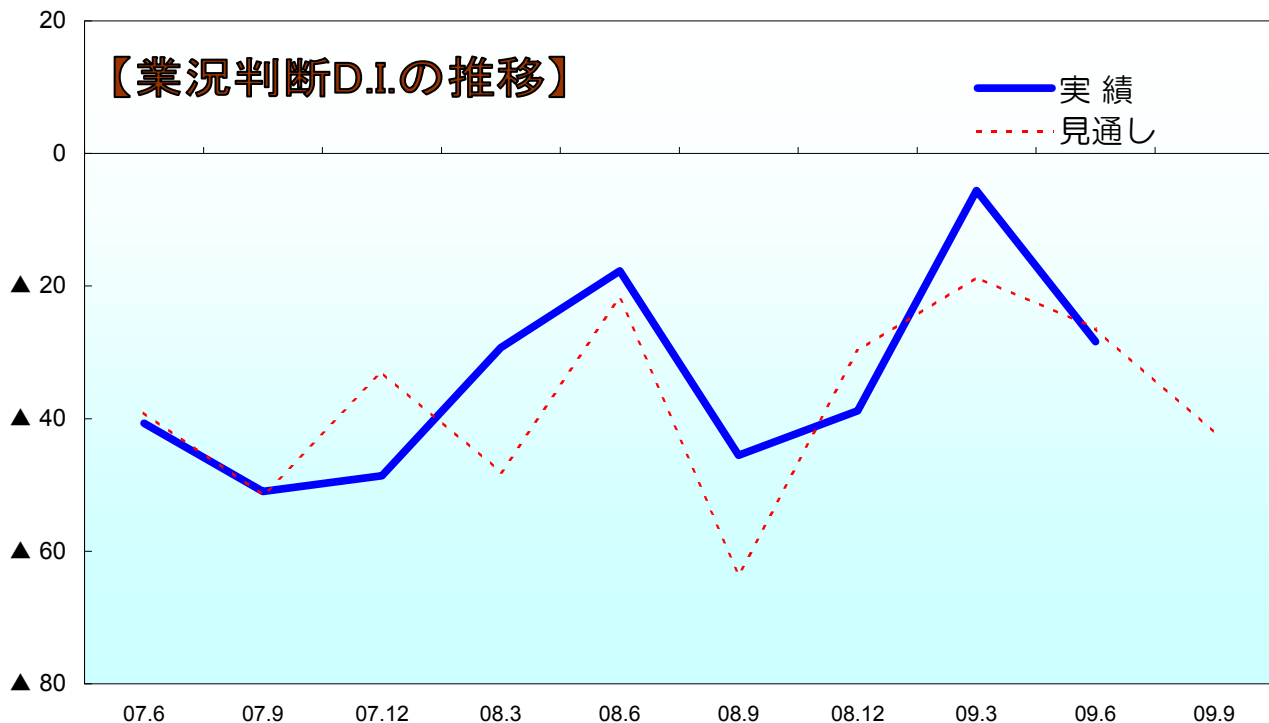
## 【今 期】

今期の「業況判断」は前期調査見通し（▲26）をやや下回る▲28の「悪い超」となり、前期（▲6）比22ポイント、前年同期（▲18）比10ポイントの悪化となった。

この間、「材料価格」が+9と、前期までの続落の動きから一転して「上昇超」に転じたが、「料金価格」は▲18と、「下降超」幅が拡大した。

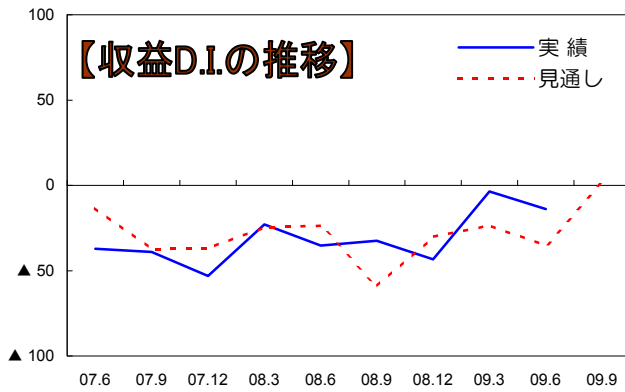
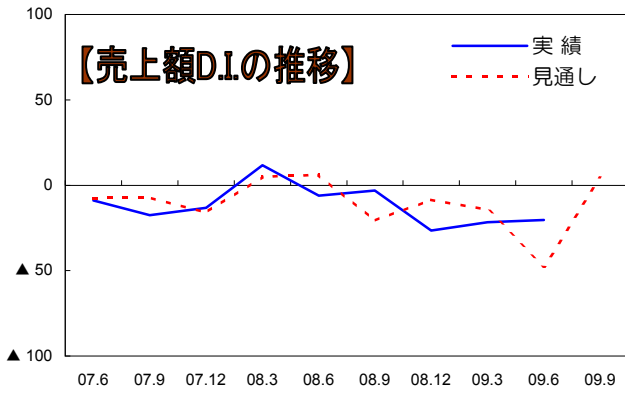
## 【来 期】

来期については、「売上額」や「収益」について「増収」や「増益」を見込む先が増え、「増収超」や「増益超」に転化する見通しとなっている。もっとも、「業況判断」は▲42の「悪い超」と、今期実績比14ポイント悪化する見通しにあり、先行き「材料価格」の上昇加速などの不安要因を抱え、引き続き厳しめの見方をする向きが多い。



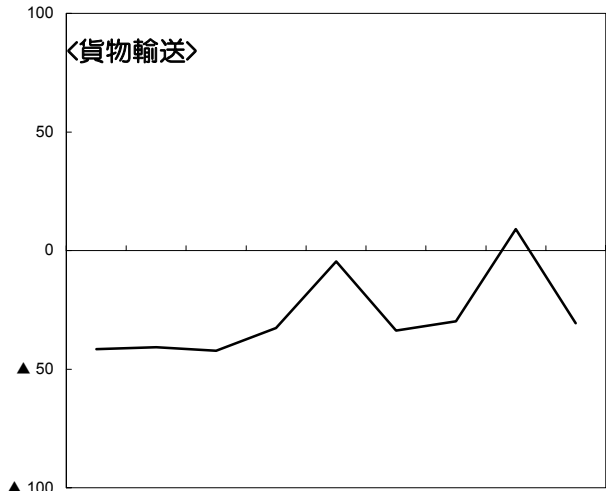
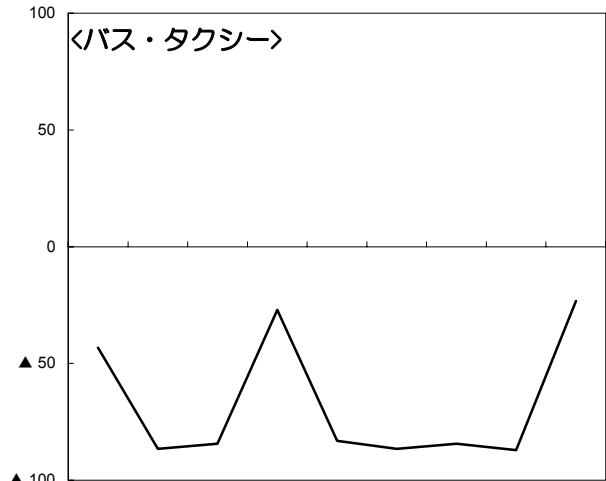
- ◆判断D.I.  
 ○業況  
 ⇒「良い」-「悪い」  
 ○売上額、収益、残業時間  
 ⇒「増加」-「減少」  
 ○料金・材料価格  
 ⇒「上昇」-「下降」  
 ○人手、現在設備  
 ⇒「過剰」-「不足」  
 ○資金繰り  
 ⇒「楽」-「苦しい」  
 ※季節調整済

	20年 4~6月	7~9月	10~12月	21年 1~3月	前回調査 (見通し)	4~6月 (実績)	7~9月 (見通し)
業況	▲ 18	▲ 46	▲ 39	▲ 6	▲ 26	▲ 28	▲ 42
売上額	▲ 6	▲ 3	▲ 27	▲ 22	▲ 48	▲ 20	4
収益	▲ 35	▲ 33	▲ 43	▲ 4	▲ 35	▲ 14	1
料金価格	7	14	▲ 1	▲ 12	▲ 22	▲ 18	▲ 8
材料価格	69	66	▲ 22	▲ 49	0	9	22
資金繰り	▲ 27	▲ 27	▲ 30	▲ 23	▲ 25	▲ 16	▲ 26
残業時間	▲ 6	▲ 10	▲ 3	12	▲ 14	▲ 20	▲ 12
人手	▲ 18	▲ 14	▲ 10	▲ 18	▲ 10	▲ 7	▲ 23
現在設備	▲ 25	0	▲ 3	▲ 14	▲ 29	4	▲ 10



### 中分類別の業況D.I.の推移

07.6 07.9 07.12 08.3 08.6 08.9 08.12 09.3 09.6



### 経営上の問題点

	社	比率
売上の停滞・減少	17	61%
材料価格の上昇	10	36%
利幅の縮小	10	36%

### 当面の重点施策

	社	比率
経費を節減する	25	89%
販路を広げる	16	57%
人材を確保する	5	18%

### 設備投資

